伊豆諸島利島に分布するキンショクダモについて

（宮崎　卓[a]，山口泰民[a]，星野義延[a]，大場秀章[b]）

Taku MIYAZAKI, Yasutami YAMAGUCHI, Yoshinobu HOSHINO and Hideaki OHBA: *Neolitsea sericea* (Blume) Koidz. var. *aurata* (Hayata) Hatus. and the Occurrence in Toshima, the Izu Islands, Japan

著者らは2002年7月26日，伊豆諸島の利島でキンショクダモを見出した．キンショクダモは，台湾，トカラ列島以南の南西諸島，小笠原諸島などに産することが報告されてきたが，伊豆諸島からはこれまで報告はなく，利島は新産地であり，かつその分布の北限自生地に当たる．

利島で見出されたキンショクダモは，集落外れの道路沿いにある萌芽林に生えており，花をもつまでに生長したのはたった1個体であった．この株の生育状態はよく，樹高は5 mに達していた．なお，道路沿いでは，葉裏に金褐色の毛をもった未開花の株も確認した．これらの個体もキンショクダモである可能性が高い．

キンショクダモについて，Hatusima (1969) や Sugimoto (1972) などは，成葉の裏面に金褐色の毛が残ること，花が春咲きであることによって，シロダモから区別できるとしている．しかし，シロダモにも裏面に多少とも金褐色を帯びた毛が残る個体があり，両者が分類学的に明瞭に区別できるかどうか疑問な点があったので，東京大学，国立科学博物館，東京都立大学牧野標本館などの標本を検討してキンショクダモとシロダモの相違点について調べた．

検討したシロダモの標本には，量的な多少はあるものの成葉の裏面に金褐色の毛が残るものがかなり見出された．こうした金褐色毛の残存する個体はシロダモが分布する本州（茨城，栃木，神奈川県以西），四国（高知県），九州（佐賀，鹿児島県）から広く採集されている．つまり，成葉裏面に金褐色毛が残存するというのはキンショクダモに特有の形質とはみなすことはできず，その有無だけでキンショクダモをシロダモから区別することはできない，といえる．しかも，シロダモに残存するこの金褐色毛とキンショクダモとされる個体の金褐色毛とは形態は同一である．

また，キンショクダモと共に葉に金褐色毛の残存するシロダモの個体もすべてキンショクダモとして，残存しないシロダモから区別する区分法もありうるが，これも，シロダモでは残存する毛の量に多少があり，金褐色毛がまったく残存しない個体との境界は明瞭ではなく，問題である．

Hatusima (1969) や Sugimoto (1972) がすでに指摘していることだが，キンショクダモでは花は春に咲く．シロダモでは秋咲きであり，実際に開花期が明瞭に異なるのであれば，遺伝的な交流が妨げられているはずであり，この性質をもってキンショクダモをシロダモから分類学的に区別することに意味があり，また実際に区別も可能となる．そこで，さきに検討したシロダモの金褐色毛の残存個体からなる標本を検討してみたところ，花をともなったシロダモの標本はすべて秋季に採集されていることが判った．また，春季に採集された標本では花をつけたものは1点もなかった．

このようにキンショクダモは，秋咲きのシロダモに対して春咲きであるという点で区別できることが明らかになった．なお，キンショクダモではどの個体も成葉裏面に金褐色毛が残存するが，金褐色毛が残存するものがすべてキンショクダモではないことはすでに記したとおりである．ところで，利島でキンショクダモを見出したのは7月下旬であったが，標本採取株では花冠の落ちた状態の花が付いており，これも明らかに春咲きである．

キンショクダモは，多くの形質でシロダモと共通しており，変種として分類するのが適切である．すでに初島が明らかにしているが，台湾の紅頭嶼から記載された *Litsea aurata* Hayata はキンショクダモであり，この学名にもとづく *Neolitsea sericea* (Bl.) Koidz. var. *aurata* (Hayata) Hatus. をキンショクダモをシロダモの変種とする説での正しい学名として用いることができる．分布は台湾（紅頭嶼），

南西諸島（西表島～トカラ列島），福江島，小笠原諸島，伊豆諸島（利島）で，検討した日本各地の標本を欧文欄に示した．なお，中国大陸南部，九州の十島，甑島からの報告もあるが，その証拠となる標本を検討することはできなかった．

標本の閲覧にあたり，東京都立大学若林三千男，国立科学博物館植物研究部秋山　忍，神奈川県立生命の星地球博物館木場英久の諸先生には多大なご協力を賜った．

Neolitsea sericea (Blume) Koidz. in Bot. Mag. Tokyo **40**: 343 (1926).

var. **aurata** (Hayata) Hatus. in J. Geobot. **17**: 106 (1969).

Litsea aurata Hayata, Mater. Fl. Formos. 246 (1911).

Specimens examined. Japan. Nansei Islands. Iriomote Island: Hunauki, T. Yamazaki, 12. June 1971 (TI); Inaba–Sonai, Kimura & Hurusawa, 9 Oct. 1940 (TI); Sonai, Hatusima 18492 (TI). Ishigaki Island: Maetakayama, Furuse, 19 July 1973 (KPM). Okinawa Island: Nagodake, Takushi 930 (TI). [Tokara Group] Tokunoshima Island: Tokunoshima-cho–Inokawadake, T. Ohba, 19 Apr. 1961 (KPM). Amami-Oshima Island: Kinsakubaru, Nase City, Hatusima 20187 (MAK). Takarajima Island: Sako 4403 (MAK). Bonin Islands. Chichijima Island: Renzu dani, Tuyama, 24 June 1940 (TI); Mt. Sakaiura, Tuyama, 15 Nov. 1935 (TI); Mt. Yoake, Ono & al. 125752, 125796 (TI); Yoakeyama–Chuouzan–Shigureyama-Komagari, Ohba & al. 715146 (TI, MAK); Mt. Hatsune, Momiyama & al. 126150 (TI); loc. cit., Furuse 7548 (TNS); Asahi daira, Okabe, Nov. 1935 (TI); Yoakeyama, alt. 300 m, Yamazaki 11229 (TI); foot of Mt. Asahiyama, Yasui, 18 May 1978 (MAK); Vicinity of Mt. Chuo-san alt. 200–300 m, Murata & al. 138443 (TI); Higashidaira, alt. 200–220 m, J. Murata & al. 248 (MAK); Hatsuneura, G. Murata & al., Jul. 20. 1975 (TNS). Ototojima Island: sine loc., Nakai, 6 July 1920 (TI). Anijima: sine loc., Nakai, 3 July 1920 (TI); Tuyama, 11 Dec. 1935 (TI); Kobayashi & Sugawara, 6 Nov. 1981 (MAK). Mukojima: sine loc., Tuyama, 6 Dec. 1935 (TI, MAK); Yamamoto, 2 Oct. 2001 (MAK); Yasui, 11 May 1986 (MAK). Nishijima: sine loc., Nakai, 6 July 1920 (TI); Yasui, 11 May 1989 (MAK). Nakoudojima: Tuyama, 10 April 1936 (TI); Yasui, 20 July 1990 (MAK). Izu Islands. Toshima, alt. 100–150 m. T. Miyazaki, Y. Yamaguchi, M. Shinojima & O. Mitani 2072617, 26 July 2002 (TI).

Neollitsea sericea var. *aurata* differs from var. *sericea* in having flowers blooming in spring and in always having persistent golden brown hairs on lower surfaces of the leaves. Recently the authors found this variety at Toshima Island in the Izu Islands. It is the northern limit of this variety.

References

Hatusima S. 1969. On some species of the Lauraceae from Japan and Taiwan. J. Geobot. (Kanazawa) **17**: 106–107.

Sugimoto J. 1972. New Keys to Woody Plants of Japan. Inoue Book Co., Tokyo (in Japanese).

（[a]東京農工大学農学部植生管理研究室，
[b]東京大学総合研究博物館）